

警告

- 取付けの際は取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 本製品の取扱には充分ご注意ください。誤った取扱は火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- 本製品は精密機器ですので、落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。故障の原因となったり、感電による怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。
- **本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。**
車両火災や事故の原因となります。また、分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 取付け作業前および作業中に本製品に損傷を発見した場合は直ちに取付け作業を中止してください。

注意

- 本製品は、SUZUKI '19～スウィッシュ (DV12B)専用です。適合車種以外への取付けは出来ません。
- 車両側のジェネレーターの発電能力によってはバッテリー上がりの危険性があります。バッテリーを定期的に充電してください。
- 製品の特性上、発熱致します。取付けの際は、必ず走行時に風があたる様に確実に取り付けて下さい。また本製品を取付けた後も、定期的に増し締めなど確実に取付けられているか確認を行ってください。
- 停車時の発熱を抑える目的で減光させる為には別売りの品番11605【RSE-01ユニット】をご使用ください。
- 本製品の取り付けには方向性が決まっております。必ずディマースセンサーが上を向き、配線が下になる様に取付けてください。それ以外の取り付け方でのご使用をされた場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 光軸調整は正しく行ってください。**LEDフォグ本体が固定されたまま無理に動かすと破損や水が浸入し点灯不良の原因になります。**
- 本製品を使用中、少しでも異常を感じた場合は、お買い求めの販売店または当社サービス課までお問い合わせください。
- 点灯中のLED発光面を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中または消灯直後の熱を持った状態で本体に水分が付着したまま長時間放置すると表面の塗装が腐食する恐れがあります。付着した水分は必ずを拭き取ってご使用ください。
- LEDフォグライト本体を落としたり、キズを付いたり、無理な力を加えないでください。破損、性能の低下、寿命を縮めるだけではなく、ケガの原因にもなります。
- 紙や布、ガソリン、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のあるものの近くでは点灯しないでください。
- ご使用前に必ず光軸の調整を行ってください。対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

製品の主な特徴・仕様

- **HIDを超えた明るさと省電力！**
本製品の入力電力は28wです。色温度は6000Kとなっております。
明るさの目安としては、35w 6000KのHIDと比較して同等以上の明るさがあります。
- **いきなり明るい素早い点灯！**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。またHIDのように徐々に発光色が変化する事はありません。
- **バッテリーに優しい自動減光システム採用！**
本製品はディマースセンサー(自動調光システム)を搭載しております。
日中周囲の明るさに反応してLEDの発光量を自動で減光しますので、日中はデイライトとして機能し、夜間は28wフルパワーで点灯します。(減光状態と差は5倍です。)
また、別売りのエンジン回転センサー(RSE-01)を接続する事で、停車中アイドリング時にも減光します。
- **走行風による強制空冷タイプ**
本製品は、走行風を本体ユニット全体に当てる事でLEDの発熱を強制的に冷やす設計となっております。
例として時速36kmで風速10mの風で冷却されるため走行中はほとんど発熱しません。
停車中はエンジン回転センサーの働きで1/5減光しますのでほとんど発熱はしません。
- **子機の増設が可能！**
本製品は別売りの子機(REVセンサー無し)を接続する事で車体の左右に振り分けての取り付けが可能です。
- **質感の高いダイキャストボディ**
本製品の本体は高級感あふれるダイキャスト製です。

仕様

●定格電圧 DC12V ●消費電力 28W ●色温度 6000K ●重量 420g

構成部品表

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| ①LEDフォグライト (FLT-322)左ボルト × 1 | ②アース用コード(青) × 1 |
| ③電源用コード(赤35cm) × 1 | ④延長コード(赤10cm) × 1 |
| ⑤ON/OFFスイッチ × 1 | ⑥エレクトロタップ 赤・白 × 各1 |



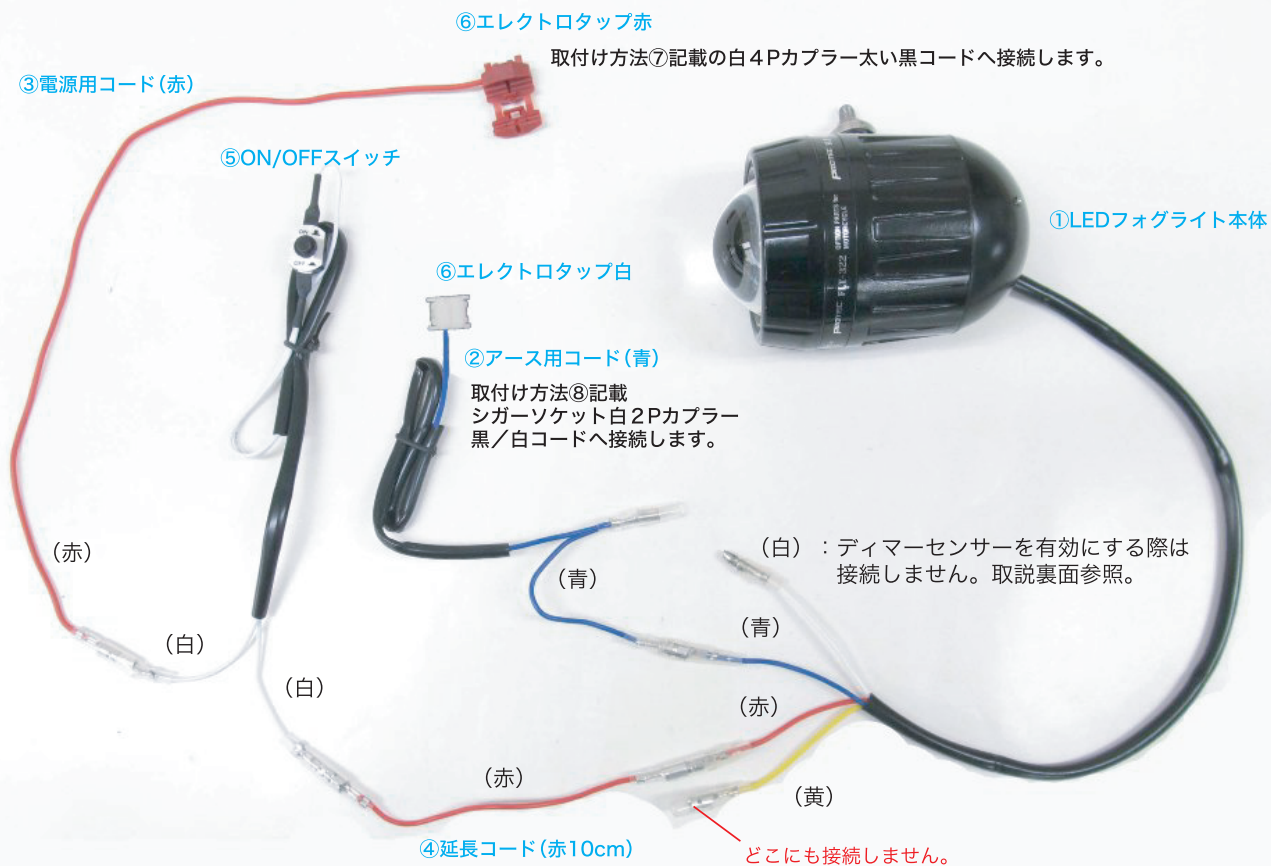
取り付け上の注意

本製品は必ず車体正面から見て右(リヤブレーキレバー側)に取付け配線が下を向く様に取り付けしてください。
指定以外の取付けは雨水などが配線を伝って本体内部への浸入し故障の原因になります。
また対向車の運転者に迷惑が掛からないような照射角度にて取り付けてください。

取付けについては保安基準を満たすため、以下の条件のもと取付けてください。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| ・ヘッドライトの中心より下に装着する事。 | ・照射はヘッドライトの光軸より下である事。 |
| ・フォグライトだけで同時に3個以上点灯してはいけない。 | ・独立した点灯、消灯できるスイッチを取り付ける事。 |
| ・取り付け位置は地面から25cm以上80cm以下である事。 | 詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。 |

配線図



取付け方法

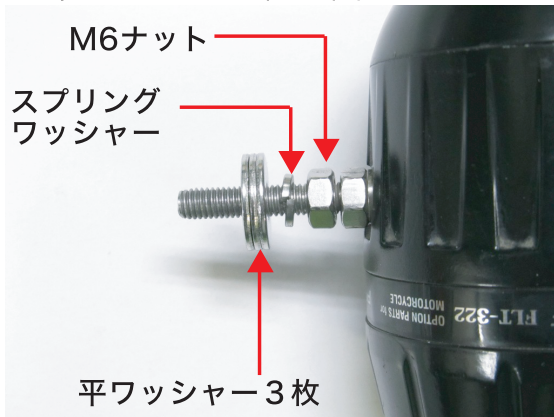
① フロントカウルを取り外します。



② フロントフェンダー左下のボルトを外します。



③ LEDフォグ本体のネジ部にM6ナット、
スプリングワッシャー、
平ワッシャー3枚を取付けます。



④ フォグライトを②で外したネジ穴に取付け、
M6ナットを締め付けて固定します。



⑤ 内側に出たLEDフォグ本体M6ボルトをセレート付きM6ナットで固定します。



⑤ 部品表⑤のスイッチを左側に貼り付け
白コードはカバー内に引き込みます。



⑥ レギュレーター上にある白いゴムカバー内の
白4Pカプラーの太い黒コードを見つけます。



⑦ 部品表③の電源用コード(赤)を
白4Pカプラーの太い方の黒コードに
赤エレクトロタップで結線します。



⑧ 部品表②の青コードをシガーソケットの
白2P防水カプラーの黒/白コードに
白エレクトロタップで結線します。



⑨ 配線図を参考に部品表③の電源用コードと部品表⑤のスイッチを接続します。
部品表⑤のスイッチとLEDフォグの赤コードを部品表④の延長コードで接続します。
部品表②のアース用コードとLEDフォグの青コードを接続します。

エンジン回転センサー RSE-01エンジン回転センサー(別売り)の動作説明

夜間、LEDフォグライト本体にあるディマーセンサーに太陽光が当たらない時、エンジン回転数によって減光(左)またはフルパワー(右)のいずれかの点灯状態になります。
減光のタイミングは走行状態から停車した時、数秒後にゆっくりと減光し始めて更に数秒後に完全に減光します。
※日中、LEDフォグライト本体にあるディマーセンサーに太陽光が当たっている時は走行中、停車中のエンジン回転数に左右されず常に減光点灯の状態になります。



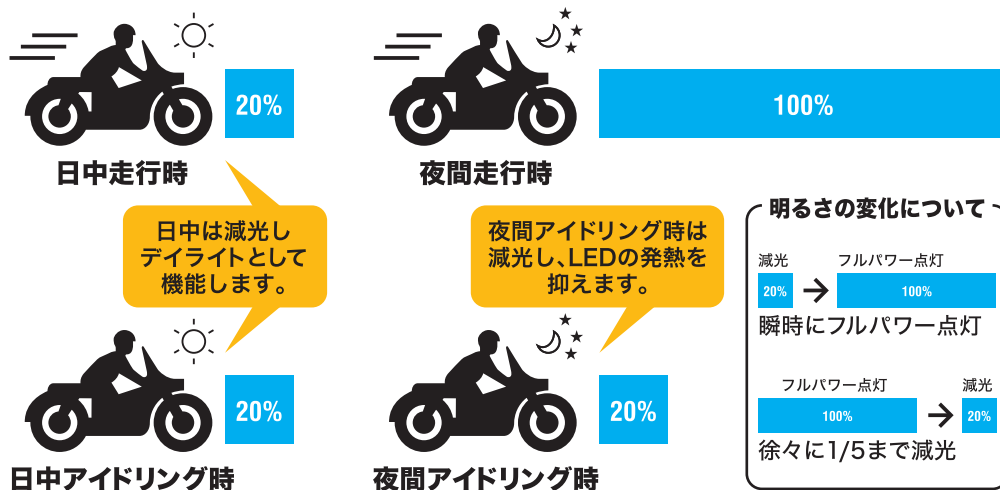
エンジン回転約2,000rpm以下のアイドリング停車中は減光点灯



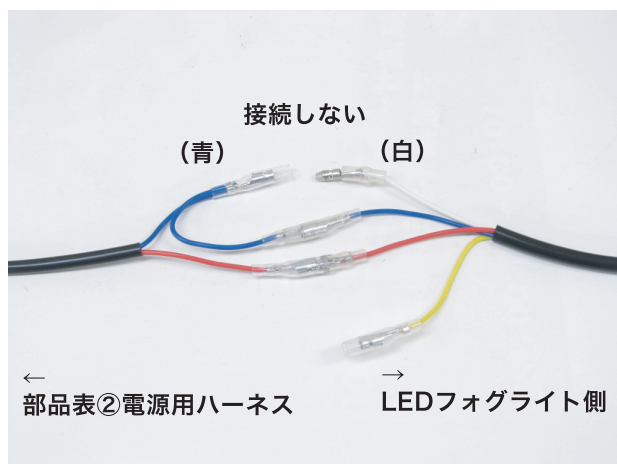
エンジン回転約2,000rpm以上の走行中はフルパワー点灯

夜間走行時(フルパワー点灯時)を100%とした場合の明るさ比較

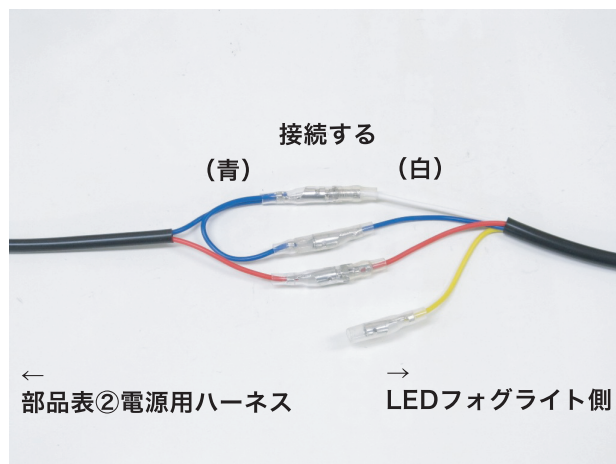
※電源投入後6~10秒間(アイドリング中)はフルパワー点灯します。
10秒後から1/5に減光します。それ以外は下記の図の通りです。



ディマースエンサーを有効にする場合(日中減光)



ディマースエンサーを無効にする場合(昼夜常時フルパワー点灯)



品番:11605 RSE-01エンジン回転センサー ¥2,200(税込)